

2020年12月3日

都道府県バスケットボール協会専務理事 各位

公益財団法人日本バスケットボール協会
審判グループゼネラルマネージャー/審判委員長 宇田川 貴生

審判員の新型コロナ感染事案について

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、先日開催された PBA の大会において、担当した審判員が新型コロナに感染していたという事案が発生しました。本事案は JBA 審判として感染拡大予防の観点から非常に重たく受止めています。つきましては、下記内容についてご確認いただき、感染予防についてご配慮、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。 敬具

記

1. 経緯

- ①大会において審判を担当
- ②審判担当翌日、職場において感染者が発生し濃厚接触者として PCR 検査を実施し陽性が判明
- ③保健所の指導により、**審判員がホィスルカバーを着用していなかったため、ホィスルからの飛沫感染の可能性を原因として**、担当試合の出場選手および担当したもうひとりの審判員が濃厚接触者に認定された。（試合に出場していない選手・コーチ等はマスク着用により濃厚接触者には認定されなかった）
- ④濃厚接触者に認定された出場選手および担当したもうひとりの審判員は PCR 検査を実施し全員陰性

2. 大会主催者のその後の対応

- ①2週間後に実施された同大会 2 回戦 3 回戦で審判員はホィスルを使用せず、マスク着用、大音量ブザーによって対応した
- ②1週間後に実施された準決勝決勝では審判員全員がホィスルカバーを着用し対応（購入またはホィスルカバーを作成）

3. JBA としての対応

- ①トップリーグ担当審判にはリーグ戦開催前にホィスルカバーを支給済
- ②全国大会である天皇杯皇后杯、インカレ、ウィンターカップ、U15 選手権、そして社会人チャンピオンシップ、社会人選手権で、大会主催者のご協力によりホィスルカバーを支給し審判員全員の着用を決定

4. 都道府県協会へのごお願い

現在日本全国で感染が拡大している状況です。審判として大会に参加する際は、健康チェックシート提出等感染予防対策を実施していますが、大会後感染発覚また無症状感染等もあり、100%感染していないとは言い切れないのも現実であります。そこで、審判員が原因による感染拡大を防ぐためにも、上記 2 ①②の対応を参考にいただき、各大会での感染予防についてご配慮とご協力をよろしくお願い致します。

なお、12月2日に臨時全国審判長会議を開催し本事案説明とともに、大会前に主催者との確認を依頼しています。あわせて審判員にホィスルカバー着用（個人作成含む）の依頼をしました。

以上

〔本件に関する問い合わせ先〕 公益財団法人日本バスケットボール協会 審判グループ：宇田川
E-MAIL jba-ref@basketball.or.jp TEL：03-4415-2046（直通）